

2025年1月1日発行

K



神奈川県理学療法士会

(公社)神奈川県理学療法士会ニュース

The Kanagawa  
Physical Therapy Association  
News

P

1  
2025  
January  
No.302

http://www.pt-kanagawa.or.jp

A

Kanagawa Physical therapy Association

○発行 | 神奈川県理学療法士会 ○代表 | 内田 賢一 ○編集 | 武田 正一

○発行所 | 〒220-0003 横浜市西区楠町4-12 アーリア20 101号 Tel.045-326-3225/Fax.045-326-3226 E-mail:jimukyoku@pt-kanagawa.or.jp

○会員数

[2024.12.1現在] 5,912名

## Contents

P1▶巻頭言 P2▶表彰 P3▶会長挨拶 P4▶災害対策部報告 P6▶ライフサポート部報告  
P9▶広報部取材報告 P10▶研究支援部報告 P11▶新人教育部報告 P12▶生涯学習部報告  
P14▶研修会・講習会 P16▶会長行動 P17▶information P18▶編集後記/原稿送付先

## 巻頭言

## ご挨拶

第41回神奈川県理学療法士学会 学会長 佐藤 隆一



皆様、あけましておめでとうございます。

新しい年を迎え、皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

この度は、本学会にご関心をお寄せいただき、心より感謝申し上げます。

本学会は、県西ブロック担当として5年ぶりに対面形式で開催され、令和7年2月9日にパシフィコ横浜で皆様をお迎えいたします。

テーマは「挑戦か安心か—変化する社会における理学療法士の見つけ方」です。現代社会が抱える課題と向き合い、理学療法士が果たすべき役割を探求する機会となることを願っています。

## 本学会の見どころ

今回の学会では、挑戦と安心の両立をテーマに、以下の5つのポイントに注目してください。

## 1. 多職種連携と災害時の理学療法士の役割

医療や福祉の現場では、多職種との連携がますます重要です。シンポジウムでは、多職種協力の実例や災害時における理学療法士の貢献を具体的にお話いたします。また、医師、看護師、作業療法士、言語聴覚士など、多く

の職種の方々と意見交換を行える貴重な機会を提供いたします。

## 2. スポーツ領域とメンタルヘルスの教育講演

最新のスポーツリハビリテーションや医療職のメンタルヘルスをテーマとした講演を通じて、理学療法士が専門性を深める機会を提供します。メンタルヘルスは、キャリアに悩む若手・中堅セラピストにとっても必須の内容です。

## 3. 神奈川県 PTOTST 士会合同特別企画

「神奈川県のリハビリテーション専門職の人材育成を考える」をテーマにシンポジウムを開催します。神奈川県健康医療局保健医療部医療整備・人材課をはじめ、県内の理学療法士、作業療法士、言語聴覚士会の代表者をお招きし、リハビリ専門職の人材育成と地域社会への貢献について議論を深めます。

## 4. 県士会タイアップ企画

県士会との協力により、研究支援部や発達支援部による教育講演、管理者育成推進部のシンポジウムなど、幅広いテーマのプログラムをご用意しました。

## 5. 対面形式の再開と多職種交流の機会

5年ぶりに対面で開催することで、医療・福

## 巻頭言

社の現場で活躍する専門職の方々との直接交流が可能です。学会を通じて新たなネットワークが形成されることを期待しています。また、県民公開講座ではポップヴァイオリニストの式町水晶氏によるトーク＆ライブを開催し、地域社会とのつながりを深めてまいります。

さらに、今回の学会では、**託児所を完備**し、小さなお子様をお持ちの参加者も安心して学会にご参加いただけます。また、**スタンプラリー**など、楽しく学べる企画もご用意しておりますので、多くの皆様のご参加を心よりお待ちしております。

### 学会への思い

本学会の開催を通じて、理学療法士の専門性を

高めるだけでなく、社会全体に貢献するための新たなビジョンと行動力を共有していきたいと考えています。テーマである「挑戦か安心か」は、変化する社会の中で私たちが果たすべき役割を問い直す機会です。技術力のみならず、人間性と倫理観を兼ね備え、社会の変化に対応していくために多くの知見を共有し、若手から管理職まで、新しい時代に向けた挑戦の一步を共に踏み出す場となることを願っております。

令和7年2月9日、皆様にお会いできるのを心待ちにしております。何卒よろしくお願い申し上げます。

## 表彰

# 神奈川県公衆衛生協会長表彰

この度、当会の松本肇氏（鶴巻温泉病院）が、令和6年度神奈川県公衆衛生協会長表彰を受賞しました。この表彰は、長年にわたり公衆衛生に貢献された方に対してその功績を賞するものです。松本氏は地域の公衆衛生の向上に貢献しており、その優れた活動が広く認められたものとなります。

受賞後のインタビューでは

「このような名誉ある表彰を頂き、大変光栄に

思います。この賞は、私一人の力ではなく、諸先輩方のご指導と職場の理解、家庭のサポートなど、多くの方々のご支援があってこそその成果だと思っています。これからもより一層努力を続けたいと思います。ありがとうございました。」

との感想を頂きました。誠におめでとうございます。



令和6年11月26日 神奈川県公衆衛生協会総会 表彰式にて (TKP ガーデンシティ PREMIUM 横浜西口)

# 新年のご挨拶



新年あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしく願い申し上げます。

会員の皆様におかれましては、令和6年がどのような一年であったでしょうか。本会では、対

外的に新たな活動に取り組んだ一年となりました。まず、県健康医療局との連携を本格的に開始し、本会の現状や将来の展望を共有させていただく中で、会員の皆様の会費だけに頼らず、外部資金を活用した運営を目指し、行政による交付金の獲得に向けた取り組みを始めました。

また、予防・産業領域での新たな挑戦として、日本美容創生株式会社（以下、美容創生）との協働による、美容室での理学療法士の活動を開始しました。この活動は、神奈川県が推進する「神奈川県 ME-BYO リビングラボ」の実証実験に採択されており、本会の会員の皆様がこの事業に参画することも県より承認されています。現在、神奈川県・美容創生・本会の三者で協定締結に向けて最終段階にあり、今後さまざまな場面で美容創生の実証実験への参加をお願いすることがあるかと思いま

す。ご興味をお持ちの会員の皆様には、ぜひご協力いただければ幸いです。

ここ1～2年は、行政から本会会員への協力依頼が増加しており、本会としても会員の皆様にそご協力をお願いしている状況です。ご協力いただける意欲のある会員の方は多数いらっしゃいますが、多くの方が病院や施設に勤務されていることから、勤務時間中に院外・施設外で活動することが難しい現状があります。そのため、現在は特定の会員の皆様にご負担いただいているのが実情です。このような状況を改善するため、神奈川県健康医療局とも相談し、業務として地域に出向きやすい環境を整える取り組みを進めております。

理学療法士は今、社会から強く求められている職能です。令和7年には、そうした期待に応えることができる組織となるべく、会長として全力で取り組んでまいります。

「神奈川県理学療法士会から日本の理学療法を変える」その目標に向けて、理事一同、これまで以上に邁進してまいります。本年も引き続き、ご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

会員の皆様のご健康と益々のご活躍を、心よりお祈り申し上げます。

有限会社 **足柄リハビリテーションサービス** Ashigara Rehabilitation Service

地域でつながる、明日へつなげる…  
あなたの手もつなぎませんか

スタッフ募集中\*施設見学受付中

お気軽に  
お問い合わせください!  
ARSホームページ  
<https://ashigara-reha.jp/>

通所介護      訪問看護

県西エリアの  
住民生活を  
支えます

放課後等  
デイサービス

ソーシャルワーク  
拠点

小規模多機能

総合案内  
**本社**      〒250-0853 小田原市 堀之内 218-3  
TEL: 0465-39-3730 FAX: 0465-37-5740

ARS訪問看護リハビリステーション

小田原市 堀之内 218-3

---

地域リハビリテーションセンター **ふらっと**

小田原市 堀之内 253-1

---

地域リハビリテーションセンター **Well**

小田原市 久野 469

---

地域リハビリテーションセンター **ふらっと湯河原**

足柄下郡 湯河原町 土肥 1-13-3

---

しあわせサービス

足柄上郡 松田町 松田惣領 1249

小田原Lエール  
女性活躍推進優良企業  
ゴールドステージ認定

# 令和6年度能登半島地震 神奈川DWAT活動報告会 参加報告

2024年10月24日、かながわ県民センターにおいて、令和6年能登半島地震において初めて実装となった神奈川DWATチームの派遣報告会が開催されました。

神奈川DWATは、先遣隊及びリーダーによる検討会議を除き多くの研修会をリモートにて開催したため顔が見える連携性が不足し、出勤したチーム員も集合場所で初めて顔を合わせ自己紹介から始める状況を踏まえ、この度の報告会は対面式での実施となりました。

報告会は、隊員及び参加団体からの参加者により行われ、神奈川DWAT担当による派遣概要説明をはじめ、金沢市及び輪島市で活動した派遣チームからの活動報告が行われました。派遣チームには本会より2名の理学療法士も参加され、活動報告に登壇されました。

活動報告は、①活動概要、②派遣により見えてきた課題、③提案事項及び現場や周囲の写真などを交え、被害状況や実務状況が伝わる写真を交えて行われました。

報告内容から同一場所の派遣でも経過時間により実状は刻々と変化し、対応内容や業務内容が変化していること、DWATの活動実績が少なく周囲の派遣チームとの連携が少ないことなど実働による共通の課題が挙げられていました。また、紙媒

体によるアセスメント用紙の使用は保管だけでなく、他チームとの情報共有も行えず、避難者に多数チームが同内容の聴取を行うなど継続的な問題も含まれていました。

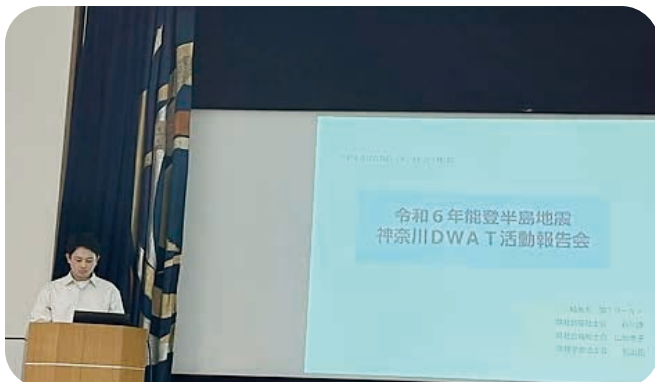
課題としては、共有する情報を含めたツールの必要や平時からのチーム内及び他の支援団体（特に保健医療）との連携の必要性など各派遣チームから同様の意見が多く提案されていました。

最後に質疑応答が行われ、派遣チームへの活動内容に関する質問や神奈川県担当者への今後の連携やツールに関する質問など、活発な意見交換が行われました。

現在、神奈川DWATの登録数は256人となり、自分に何ができると悩み登録を控えた方など、今後も増員の見込みがあり、関連団体以外への活動や業務内容の周知が必要であること、また神奈川県が被災した際の受援及び被災地としての活動についても検討が必要であろうとの意見で幕を閉じました。

本会においても、被災の際は自施設等での役割を持ち、派遣要請や出勤への対応だけでなく、福祉避難所となる施設従事者以外の養成など多くの状況を想定した対応が望まれると思われました。

今後、災害対策部においても、神奈川を含むDWAT活動の周知に尽力していきたいと思いを。



輪島市第1クール参加 前田拓氏



輪島市第3クール参加 西谷真亜沙氏

# 「ビッグレスキューかながわ2024」参加報告

2024年11月23日、神奈川県総合防災センターで実施された「ビッグレスキューかながわ2024」に、災害対策部部員3名が神奈川DWAT（災害派遣福祉チーム）として参加しました。本訓練は、神奈川県内で発生する可能性のある大規模地震を想定し、地域の防災力を高め、迅速かつ適切な災害対応力を養うことを目的としたものです。

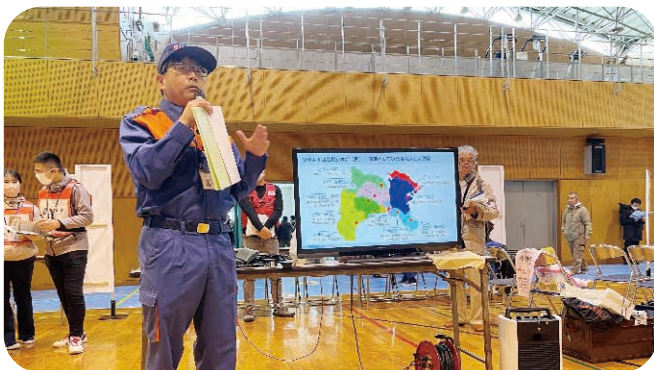
本訓練では、「避難所における保健医療福祉支援の強化」がテーマとされ、避難所内保健医療福祉活動訓練が、県内において初めて実施されました。会場となった神奈川県総合防災センターでは、体育館を中心に、災害救助訓練ゾーンやヘリポートエリアでも訓練が展開されました。神奈川DWATとして参加した私たちは体育館での避難所内保健医療福祉支援活動に従事し、多職種と協力しながら、避難者への声かけや健康状態の聞き取り調査、福祉支援を実施しました。避難者役には地域の住民の方々や近隣の学生も多数参加し、より発災後の状況に近い形での訓練となりました。

訓練では、避難所責任者である厚木市職員、医師、保健師、薬剤師など多職種のメンバーとともに事前のブリーフィングを行い、訓練の概要や各チームの役割、そして避難所全体の状況について情報を共有しました。避難所内での優先課題として、介護が必要な高齢者や障がいを持つお子さんなど、支援が必要な避難者の早期把握とその対応体制の構築

が重要視されました。こうした課題に対応するため、避難所内での聞き取り調査を実施しました。避難所内を巡回し、避難者役の方々に声をかけるなかで、車椅子を使用している方が避難所内のトイレまでの移動に不便を感じていることや、持病があり服薬の管理に不安を抱えている避難者を確認し、他職種と連携しながら具体的な支援策を検討していきました。服薬管理が必要な方には薬剤師会を通じてアドバイスを提供しました。トイレまでの移動に際し、段差のある場所で移動が困難になっていた方には避難所内の移動評価および自室テント内の生活環境調整を実施しました。また、避難生活が続く中でストレスを抱える方に対しては、精神保健医療チーム（DPAT）と協力し、メンタルヘルスの支援を提供するなど、幅広いニーズに応える活動を展開することができました。

本訓練では、神奈川DWATとして避難所内での複合的な課題に取り組むことで、理学療法士としての役割を再認識する機会ともなりました。福祉相談ブースの設置により、避難者一人ひとりのニーズに寄り添った支援が可能であることも実感することができました。こうした活動を通じて、避難所におけるQOLの向上にも貢献できたと考えています。

今回の経験を今後の活動に活かし、神奈川県理学療法士会災害対策部として、地域の防災力向上に引き続き貢献していきたいと考えています。



訓練前のブリーフィング  
(山崎 元靖氏 神奈川県健康医療局医務担当部長 医師)



訓練の様子

## 研修会報告

妊娠中のからだの変化を知って、妊娠しても安心して働ける職場について考えよう！

ライフサポート部  
活動報告  
職場環境を考える

第85報

恒例となりました『妊娠中の～』の研修&交流会、今年は9月8日にWomen'sBodyLaboの杉山さおり先生を講師にお迎えし開催しました。参加者の中には、子育てが落ち着きつつあるママPTさんで、「今度は自分が若い世代のサポートをしたい」という方が思いのほか多くいらっしゃいました。グループワークでも具体的に取り組めることについて話し合うことができ、有意義な時間となりました。

スタッフとしてここ数年続けて参加していますが、少しずつ参加者の方の層が変わってきている気がします。数年前は、妊娠出産を経験された女性の割合が多く、ご自身の時には大変な思いをしたため少しずつ変えていきたい…というご意見が中心でしたが、今年は経産婦さんはもちろん、管理職や新人さんなど様々な方が参加されていた印象でした。出ていたご意見も、「良い結果につながるかはわからないけれど、こういう取り組みをしています」とか、「こういう方向性を持って行きたいが何から始めたら良いか？」など、取り組み始めている・取り組もうとしているといったものが多かったです。皆さまがそれぞれの立場でそれぞれ模索されていることが伝わってきました。ほんの少しずつではありますが、良い方向に向かっているということが実感でき、私たちもその追い風となるよう活動していきたいと改めて思いました。



### ◎グループワークでの話題を一部共有します！

#### ■職場への妊娠の報告は早いほうがいい。でもいつ報告するかは悩んだという人は多いのはなぜ？

妊娠したことは早めに職場に報告することは、妊娠初期の身体を守ること、長期的な働き方を慎重に検討するためには重要です。とはいえ・・・、

- 妊娠初期の大変さを知らなかった（妊婦さん本人、上司、同僚ともに）
- 上司が男性で言いにくい。理解してもらえるか、配慮してもらえるかが心配。
- 男性上司側も、ハラスメント問題もあり詳しく聞く、何度も声かけするということはしにくいということもある。
- 流産する可能性のある時期から、特別配慮されてしまうのがつらい。
- 2人目の時は、上司になんて思われるだろうと思い、言いだしにくかった。

#### ○どんな対策をしていますか？

- ◎上長と相談して、「相談窓口」を作り、直接上長に言いにくいことも相談しやすい環境を作るようにした。
- ◎出産経験者が集まって勉強会を企画している。  
配慮点はその根拠もセットで周知できるようにしていきたい。

## 活動報告Ⅲ ライフサポート部

妊娠のことはセンシティブなこと（不妊の悩み、人間・家族関係の悩みなど）でもあり、全員参加も難しいとも感じている。

◎職場の決まりとして、すぐに相談すること、相談するとどのように配慮されるか決めて、周知しておくというのではないかな。

### ■休暇、仕事内容の配慮に関する悩み

- ・自分から「配慮して」とは言いにくい。「楽しんでいる」と思われそう。実際妊娠前はそう思った。
- ・自分でどこまでがんばれるか分からなかった。切迫になってやり過ぎだったとわかった。
- ・出来高である職種でもあり、上司にマイナスの存在と捉えられてしまう。
- ・人数の少ない職場のため、他のスタッフへのしわ寄せが申し訳なく、ついがんばってしまう。
- ・妊娠中は配慮されやすいが、復帰後の方が配慮されにくく、離職につながっているところもある。

### ○ ○ ○ どんな対策をしていますか？

- ・担当できる患者が少なくなる分、書類作成などの時間を設けてもらい、他のスタッフの負担を減らせるようにしてもらっている。
- ・配慮しようとしても頑張りすぎる人もおり、担当患者は6人までと決め、それ以外はデスクワークを行うと決めている。
- ・ペアのスタッフをつけるようにしている。
- ・担当できる患者の条件を共有し、班をまたいで患者担当するようにしている。
- ・日によって体調が違うことに対応してもらえた。  
毎日のミーティングで患者調整ができありがたかった。  
毎日、上司から声を掛けてもらえることで、お願いしやすかった。
- ・普段から、男性なども休暇がとりやすい環境になっている。
- ・多様な働き方が認められている。  
週3日は普通に働き、それ以外を時短にしている。
- ・「配慮しなさい」というよりも、実際に配慮している姿をみて、続いていく、広がっていくという感じで自然に配慮し合えるようになってきている。
- ・若い、子どものいないスタッフには妊娠中、子育て中の大変さが分かってもらいにくいですが、その場で理解してもらおうという考えではなく、「いつかわかってもらえる」という考えをもち、あまり気にしないようにしている。

### ◎講師への質問から『妊婦さんの休むべき症状とは』

Q：妊娠中、お腹が張ったら休憩を入れた方がいいと聞きました。自分の時はどのくらい張れば休むべきなのか分からず、結局切迫になってやっと休むべき状態がわかったという状態でした。「お腹が張る」というのは具体的にどういうことなのでしょう。お腹が張った時には、どのように対応すれば良いのでしょうか。

## 活動報告Ⅲ ライフサポート部

A:「お腹が張る」とは、妊婦さん自身の感覚を指すとのことで、子宮緊縛感とも言われ、子宮筋が収縮した状態を指します。張りの程度について、助産師さんの中には、「柔らかい状態は、頬の硬さ、少し張っている状態は鼻先の硬さ、張りが強い状態はおでこの硬さ」と表現される方もいらっしゃるようです。体験談としては、張るとお腹がキューッと硬くなる感じ（子宮が収縮する感じ）が自分でわかります。お腹が張った時には、張りが長く続かない方が良いので、出来るだけ深い呼吸をしてリラックスしてみたり、可能であれば横になって休んで、一度張りを治めると良いでしょう。強い張りが続く場合には、産婦人科医に相談した方が良いでしょう。



母健連絡カード↑

「お腹が張る」以外にも、妊娠中に注意すべき症状と対処方法の例については、「母子健康管理指導事項連絡カード」(QRコードから確認できます)が参考になりそうです。連絡カードに記載してある症状がある場合には、受診して医師に相談することが大切です。妊婦さん自身も、管理職含めた職場の皆さんも、この内容を知っていれば、受診の必要性を理解出来、その後の対処方法を周知することもできると思います。是非、一度内容を確認し、職場でも活用して頂ければと思います。

### 研修会 & 交流会のお知らせ

- ・テーマ：『パパ育休』を考えよう！
- ・内容：第1部 講演  
(パパの育休、働き方に関する制度利用や心構え、問題点など)  
第2部 シンポジウム (PTの体験談を聞いてみる)  
第3部 グループワーク (みんなで育休について話そう！)
- ・日時：令和7年2月2日(日) 13:00～15:30
- ・申込み方法：マイページから (セミナー番号：(神奈川県士会) 135660、(他県士会) 135668)
- ・参加費：神奈川県士会会員は無料 (他県士会会員は 1,000円)



# 快足 インソール

Kai Soku Insole

**特許取得済み**

特許7095847号

国際特許申請済み

+ 清潔な抗菌・防臭仕様 +

## 自分の足形がすぐに採れて 歩行を快適にサポート!

カンタン! 自分だけのインソールがすぐできる!

1

「快足インソール」を電子レンジで使用するシューズの中に500W・50秒加熱します

2

「快足インソール」を入れます

3

シューズを履きスクワットし、体重をかけ自分の足型を作成

● 発売元 **GSI Creos**  
株GSIクレオス アパレル部  
TEL.06-6944-2626  
https://www.gsi.co.jp

● 企画元 **NASAHT**  
株式会社旭無線

● 販売元 **NASAHT**  
株式会社旭無線

▶ 特許技術で、自分に最適な足形のインソールが簡単に作れます

▶ 足にバランス良く圧力をかけられる理想的なアーチを作り、バランス能力・運動機能をサポート

▶ 電子レンジで再度加熱し、足形を作り直せるサステナブルなリユース可能商品

▶ S(22~24cm)・M(24~26cm)・L(26~28cm)の3サイズをラインナップ

本商品は医療器具ではありません。ケガや疾病の予防や改善を謳うものではありません

商品詳細はこちら

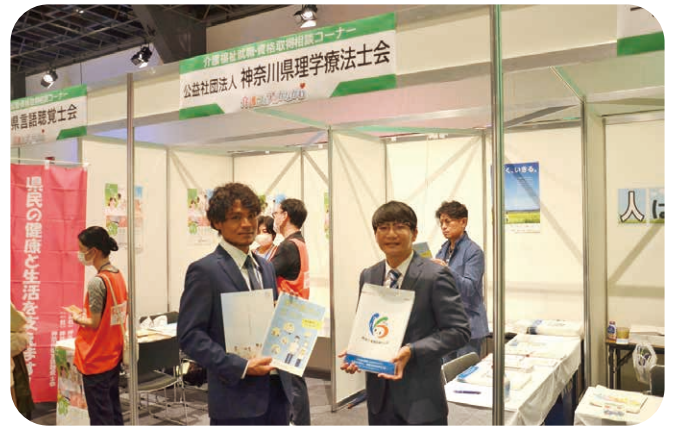


## 「介護フェア in かながわ」を取材して来ました！

11月2日横浜そごう店の新都市ホールにて介護フェア in かながわが開催されました。11月11日「介護の日」の関連イベントとして神奈川県が開催し、「介護」を身近に感じていただくことで、「介護」への理解や関心を高め、介護の仕事の魅力を知っていただくフェアです。

当士会からは、職能局社会保険部が参加いたしました。神奈川県作業療法士会・神奈川県言語聴覚士会と合同でブース出展しており、理学療法士を紹介するリーフレットや理学療法ハンドブックを展示、3ブースあわせて188名の方に来場して

いただきました。当日は雨にもかかわらず非常に多くの方々が参加されておりました。



## 「健康チャレンジフェアかながわ2024」を取材して来ました！

11月23日クイーンズスクエア横浜内イベントスペースにて、健康チャレンジフェアかながわ2024が開催されました。今年で10回目を迎え、健康づくりに関連する14のブースが出展し、健康度測定、各種相談コーナーなどをも設置していました。

当士会からは、職能局職能事業部が参加いたし

ました。バランスチェックコーナーを担当し、来場者の方に片足立ちテストを行い、バランス機能評価から相談を実施いたしました。ブースには155名の方に来場していただきました。

社会保険部・職能事業部の先生方お疲れ様でした。



## 第41回神奈川県理学療法士学会 「研究相談ブース」設置のお知らせ

研究支援部では県学会開催中、5年ぶりに研究相談ブース（個別面談）を設置いたします。研究したいけど何から始めたらいいかわからない…、大学院には行きたいけど臨床業務と両立できるか不安…、研究助成に応募してみたい！等々、お悩みの皆様！！お気軽にお越しください。皆様の研究活動スタートのきっかけとなれば幸いです。研究支援部一同お待ちしております。

対 象：神奈川県理学療法士会員

日時・場所：2025年2月9日（日）

11:30～12:30、13:40～15:00

5F ポスター展示会場内

\*相談希望の方は、上記時間内に直接研究相談ブースにお越し下さい。（先着順）

研究相談対象内容：

- ①神奈川県理学療法士会の研究助成についての質問・相談
- ②研究活動を開始する際に必要な事柄についての質問・相談
- ③研究計画立案・研究手法・統計手法等についての質問・相談
- ④論文投稿や大学院進学などの一般的な手続きについての質問・相談

\*以下の相談内容は対象外とさせていただきます。

- ①臨床データの統計の代行および統計結果の解釈の提示
- ②論文執筆の支援
- ③先取権など研究上の秘密に関わる内容（アイデアの着想について）

注意事項：

- ・研究相談はあくまでセカンドオピニオンとしての立場で行わせて頂きます。
- ・提供して頂いた情報は秘密情報として厳重に管理され、第三者に開示されることはありません。
- ・その場限りの相談であり、その後の責任は一切負いません。
- ・研究上の共同研究者がいる場合は了承を得てください（事後でも良い）
- ・研究相談対象外や相談員の専門性を超える質問・相談には回答出来ない場合がありますのでご了承ください。

問い合わせ：研究支援部研究相談窓口：

kenkyushien@pt-kanagawa.or.jp

\*件名に「研究相談」とご記入の上、上記アドレスにお送りください。

MAKERS OF PERFORMANCE PROSTHESIS & ORTHOSIS

SP-I

湘南義肢研究所

整形靴から義足、車いすまで



神奈川で半世紀

これからも気分の上がる装具をお届けします！

最新情報はFacebookで

横須賀市小川町27 TEL 046-822-6722 <https://www.sp-i.net>



## 生涯学習制度 研修状況について

### ●前期研修（最短2年間）

2023年度入会された方は、最短で今年度で前期研修が修了となります。2021～2023年に入会された方の修了状況をご報告いたします。eラーニングは、いつでも受講できると思って、ついつい後回しになってしまいがちですので、計画的に履修をしてください。

また、今年（2024年）度入会された方の進捗としては、1コマ以上のeラーニングに取り組んでいる割合は、**全体の17.7%**となっています。

入会年度	修了者の割合 (%)
2021	49.8
2022	30.9
2023	13.2

(2024年11月22日時点)

### ●後期研修（最短3年間）

2022年度から始まったこの制度は、2020年度に入会された方が最短で今年度で後期研修が修了し、2025年から登録理学療法士となります。

2020年年度に入会され、後期研修の履修が修

了している割合は、**全体の1.4%**（前期研修が修了していない方も含め）となっています（2024年11月22日時点）。進捗状況を確認すると、**E-1～E-3の履修が進んでいない**ようです。これは、後期研修をしている会員本人では履修ができません。所属施設の登録理学療法士の方が「士会承認症例検討会\*」を計画していただき、開催2週間以上前にマイページから申請をしていただく必要があります。つきまして、各所属施設の新人教育担当の方や管理者の方が、声かけをしていただき、E-1～E-3の履修を進めてください。本会の新人教育部では、年に数回（下記に来年度の予定を記載）、「士会主催症例検討会」を開催していますが、定員に限りがあります。是非各所属施設やブロックでの症例検討会を開催していただけますようお願い致します。

\*士会承認症例検討会とは、30分以上かけて行う症例検討会となります。各所属の登録理学療法士が事前にマイページにて申請をすると発表または聴講した後期研修者にコマの取得がされます。

## 令和7（2025）年度 士会主催症例検討会の開催について（ご案内）

来年度は、右記の通り4回の症例検討会をオンラインにて予定しています。また、第42回神奈川県理学療法士学会にて、対面での症例検討会を予定しています。聴講の申し込みには限りがあります。先着順となりますので、ご了承ください。

また各検討会にて、発表者3名を募集しています。発表者は、1回の発表で、1コマ分を取得することができます（聴講の場合は1/3コマです）。発表時間は、10分です。少しでも興味がある方は、syoreikentou@pt-kanagawa.or.jpまでご連絡ください!!

詳細は、本会HPとLINE（公益社団法人 神奈川県理学療法士会）にてお知らせいたしますので、ご確認をお願いします。

開催順	開催日	領域	申し込み開始
1	4月20日（日）10時～	神経系（E-1）	2月20日
2	6月15日（日）10時～	内部障害系（E-3）	4月15日
3	9月28日（日）10時～	運動器障害系（E-2）	7月28日
4	11月16日（日）10時～	内部障害系（E-3）	9月16日
5	県学会開催日	未定	不要

### ●新人教育部員のつぶやき…

養成校の教員となって10年目となり、あっという間に臨床経験を超えてしまいました。1年が長く感じた小学生時代、1日24時間はあの頃から変わっていないのに、何故感覚が違うのだろうかと思うことがあります。それだけ充実しているのか、ただ忙しいだけなのか・・・1つ言えるのは、今できることを一生懸命やることだと思います。“忙しい”、“大変”なのはみんな一緒なので、今の時間を大切にしていきたいと思います。

# 2024年度 (公社) 神奈川県理学療法士会 生涯学習部主催講習会のお知らせ

御確認の上、日本理学療法士協会「マイページ」から登録をお願いします。  
詳細（履修ポイント、申込受付期間 等）は日本理学療法士協会マイページ等を御確認ください。  
いずれも 11 月に開催に生配信で開催した講習会の録画配信となります。御注意ください。

## 【神奈川県理学療法士会 生涯学習部主催 「理学療法評価」講習会】

テーマ：介護予防領域における臨床実践に不可欠な基礎知識

内容：高齢者の健康寿命をいかに延伸するかが喫緊の課題となっている本邦では、介護予防領域におけるリハビリテーション専門職の活躍が期待されている。本講習会では、高齢期における要介護発生リスクファクターであるサルコペニア・ロコモ・フレイルについて概説するとともに、介護予防領域における高齢者の転倒予防と疼痛対策に着目した臨床研究の最前線を紹介し、本領域における臨床実践に不可欠な基礎知識をアップデートする。

講師：佐伯 拓也

(横浜市立大学附属市民総合医療センター)

日時：(1回目) 2024年11月23日(土) 10:00～13:00

← 終了しました

(2回目) 2025年1月17日(金) 12:00

～1月23日(木) 12:00

質問受付×切：2025年1月30日(木)

## 【神奈川県理学療法士会 生涯学習部主催 「脊髄損傷の理学療法」講習会】

テーマ：脊髄損傷理学療法の基礎

内容：その障害像の多様さや障害特性により、脊髄損傷の理学療法は決して容易なものではない。しかしながら幸いなことに、脊髄損傷はリハビリテーション医学とともに長い歴史を持ち、加えてわが国でも中核となる専門のリハビリテーションセンターがこの領域を力強く牽引してきた。その成果として国内外で臨床知見とデータの蓄積があり、標準的な評価方法や推奨される理学療法介入がある程度定まっている。

本講義では、脊髄損傷を対象として理学療法を展開するうえで基礎となる知識を獲得することを目指す。解剖学、神経学的な視点からの脊髄損傷の障害像や病態の理解、標準的な評価方法と予後予測の理解、完全型脊髄損傷ならびに不全型脊髄損傷の理学療法の要点を概説する。

講師：浅井 直樹

(公立大学法人神奈川県立保健福祉大学)

日時：(1回目) 2024年11月24日(日) 10:00～13:00

← 終了しました

(2回目) 2025年1月24日(金) 12:00

～1月30日(木) 12:00

質問受付×切：2025年2月7日(木)

## 活動報告Ⅶ 生涯学習部

### 注意事項

#### 【受講費に関して】

- \*受講費：本会会員 3,000 円、他都道府県士会会員 6,000 円
- \*受講費は事前に振り込みをするか、カードでの引き落としとなります。  
振り込みの場合は手数料を御負担ください。
- \*入金確認ができましたら、受講登録が完了します。
- \*納入期限の時点で入金の確認が出来なかった場合はキャンセル扱いとさせていただきます。
- \*納入後のキャンセルにつきましては、受講費の返還はされませんので御了承ください。
- \*領収証が必要な方は、日本理学療法士協会のマイページよりダウンロードしてください。

#### 【申し込みに関して】

- \*キャリアメール（携帯電話のメール）は登録しないでください。  
（連絡メールが届かないことや視聴できないことが多発しております。携帯メールで登録した場合に生じたエラーについては対応できませんので、くれぐれも御注意ください。）
- \*基本的に、日本理学療法士協会のマイページに登録されたメールアドレスを使用させていただきます。
- \*セキュリティの設定により、連絡メールが迷惑メールフォルダに振り分けられている場合がございます。必ず御確認をお願いいたします。
- \*登録アドレスの不備により連絡メールが届かない場合の責任は負いかねます。

#### 【視聴登録・視聴に関して】

- \*視聴の際には、必ず申込時と同一のメールアドレスで登録してください。
- \*本講習会はログイン時にパスワードを設定し、申込者のみ受講いただけます。複数人での視聴は禁止いたします。万が一、申込者以外の視聴が確認された場合、主催者側で当該者の退室、あるいは視聴制限を行う可能性もございます。
- \*上記注意事項に違反している場合、視聴されてもポイント付与、受講費の返還はされませんので御注意ください。
- \*各個人のシステムトラブル等には対応しかねます。予め御自身が使用される機器の Web 環境を十分に御確認ください。  
（事前の動作確認を推奨いたします。）
- \*受講中の各個人のシステムトラブルによる通信

障害はいかなる場合も受講費の返還およびポイント付与の対象とはなりません。

- \*受講中の録音、録画、撮影等は固く禁じます。発見した場合、今後の受講禁止等の罰則を与えます。

#### 【ポイント付与に関して】

- \*ポイント付与等の一切は日本理学療法士協会の管理となっております。  
日本理学療法士協会の案内を御参照ください。よろしくお願いいたします。
- \*JPTA（日本理学療法士協会）のアプリを使用いたします。  
講習会開始までに必ずダウンロードをお願いいたします。
- \*講義の途中と終了時に QR コードを表示いたします。  
QR コードの読み取りをもって受講を承認いたしますので、JPTA のアプリを御準備の上、受講いただきますようお願いいたします。
- \*講義の 2/3 以上の時間の出席が確認できない場合、ポイントは付与されません。
- \*生配信では休憩時間中も接続したままにいただきますようお願いいたします。
- \*ポイント付与には一定の期間を要します。
- \*注意事項に抵触する場合、ポイントは付与されません。

#### 【個人情報保護に関して】

- \*御提供いただきました個人情報は、講習会の御出席の確認、講習会に必要な連絡のためにのみ使用いたします。  
個人情報は、主催関係者および業務委託先を除く第三者に開示・提供することはありません。  
個人情報は、本会の個人情報保護方針に基づき、安全かつ適切に管理いたします。

申込をもって、本注意事項を御確認の上、御同意いただいたものとみなします。

### お問い合わせ先

（公社）神奈川県理学療法士会 生涯学習部  
E-mail：shogaigakushu@pt-kanagawa.or.jp  
お問い合わせはメールでお願いします。

- \*上記注意事項に記載事項に関してはお答えできませんので御了承ください。

# 第11回日本スポーツ理学療法学会学術大会 参加登録のご案内

テーマ：多様性とスポーツ理学療法 ～ Diversity  
Inclusion and Sports Physical Therapy ～

内容：第11回日本スポーツ理学療法学会学術大会を令和7年(2025年)1月25日(土)、26日(日)に神奈川県横浜市のパシフィコ横浜ノースにて開催いたします。学術大会のテーマを「多様性とスポーツ理学療法」とし、1. 女性スポーツ理学療法士の更なる活躍. 2. パリ2024オリパラ大会メディカルサポート. 3. 医療保険外のコンディショニングやトレーニング等のサービス. 4. スポーツ理学療法に求められる社会貢献活動. など多様性とスポーツ理学療法の関係についての様々な議論ができる企画が実施されます。

学術大会長：鈴木仁人

(横浜市スポーツ医科学センター)

開催日時：令和7年1月25日(土)～26日(日)

会場：パシフィコ横浜ノース

受講料：参加登録詳細は下記URLをご確認ください。

<https://www.gakkai.co.jp/jsspt11/registration.html>

講師：プログラム詳細は下記URLをご確認ください。

<https://www.gakkai.co.jp/jsspt11/program.html>

注意事項：本会では無料の「託児サービス」などを用意し、子育て世代の参加を歓迎しています。

「託児サービス」は定員がございますので、お早めの事前参加登録をおすすめいたします。

お問い合わせ：株式会社学会サービス

E-mail：[jsspt11@gakkai.co.jp](mailto:jsspt11@gakkai.co.jp)

## 日本物理療法合同学術大会2025

テーマ：物理療法が拓くシン・リハビリテーション

内容：特別講演 ブレイン・マシン・インターフェースによる脳の可塑性誘導と機能回復  
講師：牛場潤一(慶應義塾大学)

教育講演 DX時代におけるデータ科学融合型の物理療法学研究に向けて

講師：松井佑介(名古屋大学)

その他、詳細はこちらから

<https://www.jptac2025.com/program>

開催日時：2025年2月1日(土)

会場：名古屋市立大学 田辺通キャンパス

お問い合わせ：日本物理療法合同学術大会2025 運営事務局

Email：[butsuryou2025@gmail.com](mailto:butsuryou2025@gmail.com)

SNS：X [@butsuryo2024](https://twitter.com/butsuryo2024)

HP：<https://www.jptac2025.com/>

# 令和6年度 日本運動器理学療法学会 第7回ブロック学術小集会のご案内

テーマ：「関節への働きかけを再考する～評価から治療へのつながり～」

内容：日本運動器理学療法学会では昨年度より、年に1回の学術大会とは別に学術大会開催地から離れた地区においてブロック小集会の開催を再開しております。ブロック小集会は対面開催として学術情報を得ていただくとともに、学術的議論にも参加していただける場とすることを目的としています。本年度は西日本での開催都市、福岡県の令和健康科学大学を開催地としています。

詳細をご確認の上、ぜひご参加のほど、よろしくお願いたします。

○教育講演

『関節に対する評価と治療のリアル』

10:00～11:00

○一般演題

11:10～12:10

4～6 演題（口述のみ）募集中

<https://www.jspt.or.jp/jsmspt/news/block7endai.html>

○特別講演『まず解像度を上げよう！～腰痛のサブグループ化に基づく理学療法～』 12:50～14:20

○教育ディベート『関節へのアプローチは生物学的側面か心理的側面か？そしてその先へ』 14:30～16:10

開催日時：2025年2月9日（日曜日）10:00～16:10

会場：令和健康科学大学 2号館 2101 メインホール

受講料：事前参加登録

○専門会員 A・B 2,000 円

○一般会員・理学療法士協会員 3,000 円

○非学会員・非理学療法士協会員・他職種 4,000 円

○学生会員 1,000 円

当日参加登録

○専門会員 A・B 3,000 円

○一般会員・理学療法士協会員 4,000 円

○非学会員・非理学療法士協会員・他職種 5,000 円

○学生会員 1,000 円

講師：○教育講演『関節に対する評価と治療のリアル』

澳昂佑 森口晃一 平川善之

○特別講演『まず解像度を上げよう！～腰痛のサブグループ化に基づく理学療法～』  
多々良大輔

○教育ディベート『関節へのアプローチは生物学的側面』

岡澤和哉 谷口隆憲 原田伸哉 山下浩史

定員：200名

注意事項：完全対面開催

詳細は以下よりお願いたします。

<https://www.jspt.or.jp/jsmspt/news/block7.html>

お問い合わせ：準備委員長 梶野 允也

[masaya55.k@gmail.com](mailto:masaya55.k@gmail.com)

株式会社エヌ・エフ・エーは  
保険を通じて暮らしやビジネスを  
サポートします



**NFA**

株式会社 エヌ・エフ・エー

保険のトータルプランナー

〒110-0015

東京都台東区東上野1丁目6-2 荒井ビル2階

TEL.03-5818-0711(代表) FAX.03-5818-0710

<https://www.nfa-ins.co.jp>

# 会長行動報告

報告期間 令和6年（2024年）9月1日～令和6年（2024年）11月30日

当該期間の会長職務の執行状況を報告します。

9月	3日	(火)	斉藤秀之 PT 協会長と意見交換会	横浜
	5日	(木)	第6回常任理事会	Web
	6日	(金)	横浜市整形外科医会と意見交換会	横浜
	18日	(水)	第45回神奈川県病院学会学術委員会	ホテルザノット横浜
	19日	(木)	共同研究打合せ	県立大学
	25日	(水)	神奈川県医療専門職連合会理事会	Web
			同 広報・企画委員会	Web
10月	26日	(木)	第3回事業運営会議	Web
	3日	(木)	第7回常任理事会	Web
	5日	(土)	第43回関東甲信越ブロック理学療法士学会 開会式	幕張メッセ
			関東甲信越ブロック協議会 士会長会議	幕張メッセ
			第43回関東甲信越ブロック学会 士会長シンポジウム	幕張メッセ
			関東甲信越ブロック協議会士会長 懇親会	ホテルニューオータニ幕張
	6日	(日)	関東甲信越ブロック協議会「働きやすい環境造り検討委員会」会議	幕張メッセ
	20日	(日)	日本理学療法士協会組織運営協議会	Web
	21日	(月)	神奈川県病院医療関係団体連絡協議会	県庁
			同 懇親会	県民ホール
	25日	(金)	日本理学療法士連盟研修会	TKP
26日	(土)	理事自由意見交換会	ウィリング横浜	
		第4回（拡大）事業運営会議	ウィリング横浜	
		役員ハラスメント防止研修会	ウィリング横浜	
27日	(日)	神奈川県言語聴覚士会法人設立祝賀会	Web	
11月	5日	(火)	市川和広氏（神奈川県議会議員）県政報告会	藤沢商工会議所
	7日	(木)	第8回常任理事会	
	8日	(金)	本会業務確認作業	事務所
	11日	(月)	本会業務確認作業	事務所
	24日	(日)	協会（初級）管理者研修	Web
	27日	(水)	神奈川県医療専門職連合会理事会	Web
	28日	(木)	第4回理事会	Web

## 有限会社 木村義肢工作研究所

みなさまのご要望に真摯に向き合い

生活を手助けするものづくりを提供して参ります

〒247-0006 横浜市栄区笠間三丁目40番5号  
TEL045-892-5424 FAX045-894-2560 [www.kimura-gish.co.jp](http://www.kimura-gish.co.jp)





# 日本理学療法士協会会員証・協会マイページログインについて

会員の皆様方のお手元には「日本理学療法士協会 会員証」が届いていると思います。

今後、神奈川県理学療法士会や日本理学療法士協会の主催事業の参加受付の際に必要なになります。携帯する様にお願いします。



紛失・破損等による再発行は、**有料（500円税別）**となりますので、ご注意ください。

神奈川県理学療法士会や日本理学療法士協会の主催事業の申込をする際には、日本理学療法士協会ホームページの「マイページ」からの申込になります。「マイページ」にログインするには、ID・パスワードが必須となります。

- \*「ID・パスワード再発行」はログインページの「ログインできない方はこちら」をクリックし、再発行申請手続きを行ってください。
- \*会員証・ID・パスワードの再発行の申請について詳しくは、日本理学療法士協会のホームページをご覧ください。ご不明な点は、日本理学療法士協会へお問合せをお願いいたします。

## 年会費（納入方法）

年会費の納入方法は「クレジットカード決済」または「口座振替」となります。

クレジットカード決済にご利用可能なブランドは次のとおりです。（決済手数料負担なし）

VISA / mastercard / JCB / AMERICAN EXPRESS / Diners Club

\*日本理学療法士協会マイページから随時変更可能です。

\*口座振替ご希望の方はお持ちの金融機関口座から引落出来ます。ご登録いただいてから引落決済が利用できるまでに1か月程度かかる場合があります。

\*いずれかの方法で決済ができない場合は、振込用紙を送付させていただきます。（納入手数料がかかります）



# Gift

オリジナルカーシート  
(150センチ程度まで)

日本ウイール・チェア株式会社  
〒188-0014 東京都西東京市芝久保町2-22-31  
TEL 042-463-1511 FAX 042-463-3730

そのほか当社では  
福祉用具レンタル・販売  
も取り扱っています



NIHON WHEELCHAIRS  
<http://nwc-kurumaisu.com/>

## 編集後記

皆様あけましておめでとうございます。忙しい師走も過ぎ 2025 年となりました。巻頭言では第 41 回神奈川県理学療法士学会、学会長の佐藤先生より学会への思いを執筆頂きました。5 年ぶりの対面形式とのことで皆様のコミュニケーションが更に深まることを楽しみにしています。さて、学会テーマでもある「挑戦か安心か」と今年の干支「巳」を掛けまして、「脱皮が必要でしょう」ととききました。転じて「殻を破る」を goo 辞書で調べてみると、「これまでの考えや習慣、築き上げてきた方法や世界などを壊して、新しいものに変える。」事だそうです。この文章を読んでみて良い意味で“壊す”という部分に創造性があると感じました。色々な場面で「破壊なき創造はない」みたいな表現は多く使われているように、壊すこともエネルギーは必要ですが挑戦する場面では大切なのではないかと再確認しました。私もこたつに入って安心したいですが挑戦できる 1 年にしたいと思います。なぜなら巳年だからです・・・。



ニュース編集係 武田 正一



神奈川県理学療法士会の  
公式アカウントがあります。

研修会やイベント、県士会からの  
重要な情報を LINE でお届けします！

@720prcny

LINEの「友だち追加」から、ID検索するか  
QRコードをスキャンしてください



友だち数 1,149

### ・ニュース編集係員・

担当理事：西田 友紀子  
(川崎幸病院)  
係長：武田 正一  
(横浜リハビリテーション専門学校)  
委員：上垣 亮太  
(横浜リハビリテーション専門学校)  
須藤 ゆかり  
(横浜リハビリテーション専門学校)

次号の原稿締め切りは**2025年3月1日**です。

岩崎学園 横浜リハビリテーション専門学校  
理学療法学科 (ニュース編集係宛)

[news-hensyu@pt-kanagawa.or.jp](mailto:news-hensyu@pt-kanagawa.or.jp)

〈原稿は添付ファイルでお願いいたします〉

※原稿受取確認を希望する場合は開封確認機能をご利用ください。  
円滑な編集作業へのご理解とご協力よろしくをお願いいたします。